

エクスカージョン旅程表

(④陸前高田・気仙沼・南三陸コース)

日時	行程	備考
2025年 3月10日 (月)	<p>仙台駅東口発 08:30 貸切バスにて岩手県沿岸部へ</p> <p>仙台東 IC == (三陸自動車道) == 陸前高田 IC</p> <p>(途中、気仙沼湾横断橋通過)</p> <p>11:00 陸前高田着～語り部ガイドさんによる案内 (90分)</p> <p>～津波伝承館ガイド案内～発 14:30</p> <p>(見学途中、道の駅高田松原にて自由昼食)</p> <p>15:00 気仙沼市内鹿折地区車窓 15:20</p> <p>気仙沼港 IC == (三陸自動車道) == 南三陸海岸 IC</p> <p>16:00 南三陸町着～さんさん商店街にて休憩～発 16:30</p> <p>(震災復興祈念公園・防災庁舎)</p> <p>志津川 IC == (三陸自動車道) == 仙台東 IC</p> <p>18:30 仙台駅東口着・解散</p>	

④陸前高田、気仙沼、南三陸コース（3月10日終日）9,000円

・東日本大震災津波伝承館

元) 東日本大震災津波伝承館 HP



日本列島は、地球上でも特に自然災害の危険性が高い宿命の地であり、この地に生きる私たちは、長年にわたり自然災害への対応力を高めてきました。

しかし、2011年3月11日に発生した東日本大震災津波により、私たちは多くの尊い命を失いました。

この悲しみを繰り返さないためには、知恵と技術で備え、自ら行動することにより、様々な自然災害から命を守り、そして、自然災害を乗り越えていくことが重要です。

東日本大震災津波伝承館は、先人の英知に学び、東日本大震災津波の事実と教訓を世界中の人々と共有し、自然災害に強い社会を一緒に実現することを目指します。

そして、東日本大震災津波を乗り越えて進む姿を、支援への感謝とともに発信していきます。

Website: <https://iwate-tsunami-memorial.jp/>

・道の駅高田松原
元) 道の駅高田松原 HP



国営追悼・祈念施設



東日本大震災津波伝承館

※ 自由昼食会場

Website: <https://takata-matsubara.com>

・さんさん商店街

元) 南三陸さんさん商店街 HP



「サンサンと輝く太陽のように、笑顔とパワーに満ちた南三陸の商店街にしたい」というコンセプトのもと、2012年2月25日に仮設商店街としてオープンした”さんさん商店街”ですが、震災より5年が経過し、このほど2017年3月3日(サンサン)に本設オープンいたしました。

かつての町の中心地に震災後 8.3mほどかさ上げされた高台の造成地、国道45号線と国道398号線が交差する志津川地区に本設としてオープン。

南三陸杉を使用した平屋6棟に、飲食6軒、生活関連5軒、土産物店4軒、鮮魚店3軒、カフェ・スイーツ店6軒、理美容2軒、葬祭関連1軒、コンビニ1軒、産直施設1軒、計29店舗で構成されています。

Website: <https://www.sansan-minamisanriku.com/about-us/>

・南三陸復興祈念公園
元) 南三陸町 HP



平成23年3月11日午後2時46分に発生したマグニチュード9.0の東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）の大津波により、南三陸町では、死者・行方不明者が800名を超え、過去に例を見ない極めて甚大な被害が発生しました。南三陸町震災復興祈念公園は、東日本大震災によって犠牲となられた方々の追悼・鎮魂の場であるとともに、甚大な被害の記憶や教訓を継承し、震災からの復興を祈念する場として整備された公園です。

Website

:

<https://www.town.minamisanriku.miyagi.jp/index.cfm/6,0,129,html>

・南三陸町防災対策庁舎
元) ウィキペディア



1995年（平成7年）、志津川町の町役場の行政庁舎の1つとして建設された。志津川町におけるチリ地震の浸水深2.4メートル^[1]に対し、防災対策庁舎は海拔1.7m、海岸から約600mの地点に建つ鉄骨造ほか3階建てであり、地上から高さ約12メートルの屋上に避難場所があった。2005年（平成17年）10月1日、志津川町と歌津町が新設合併して南三陸町となった。防災対策庁舎は南三陸町役場の行政庁舎の1つとなった。町役場の本所には、行政第1・第2庁舎、そして防災対策庁舎が隣接して建っていた。

2011年（平成23年）3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）に伴う15.5メートルの津波により、第1庁舎および第2庁舎は流失し、防災対策庁舎は骨組みと各フロアの床および屋根等を残して破壊された。その悲劇（後述）により、防災対策庁舎は震災遺構とみなされている。

Website：[南三陸町防災対策庁舎 - Wikipedia](#)